

# 第41期 中間報告書

(2018.3.1 ~ 2018.8.31)

## イオン北海道株式会社

(証券コード 7512)

### 株主の皆さまへ

「イオンのあるまちに住みたい！」そう言っていただけるよう、  
地域のお客さまに愛される店づくりに取り組みます。



代表取締役社長

青柳 英樹

2018年10月1日付で、代表取締役社長に就任しました青柳英樹です。平素より当社経営に関しまして格別のご支援をいただき誠にありがとうございます。当事業年度は2017~2019年度にわたる中期3ヶ年経営計画の2年目にあたり、北海道で最も信頼される企業になることを目標に、「顧客ロイヤリティ北海道No.1企業の実現」「収益性と安定性で北海道No.1企業の実現」「地域活性化企業北海道No.1の実現」「働き続けたい企業北海道No.1の実現」の4つのNo.1の実現に向けた諸施策を進めております。

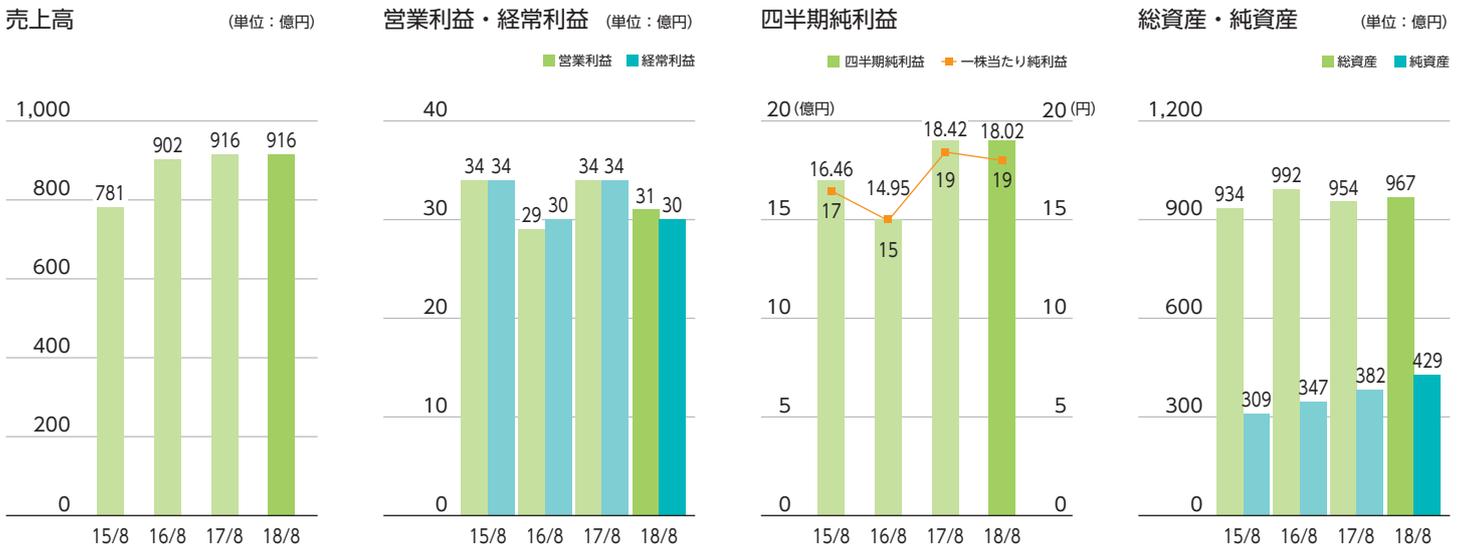
第2四半期累計期間の業績は減益となりましたが、ほぼ計画通りの実績です。売上高は異常気象などにより計画未達も、前年同期比100%を確保しております。営業利益の減益要因は、営業総利益で前年実績を確保したものの、積極的な既存店投資に伴う一過性の費用の発生により、計画を僅かに下回りました。なお、第2四半期は第1四半期と比較し、活性化投資やデジタル投資の成果などにより、売上高、売上総利益とも改善傾向にあり、この勢いを第3四半期以降も継続してまいります。

小売業を取り巻く環境は激変しています。その中で当社は、総合小売業としての強みを活かしながら、未来に向けて、新しい小売業の姿を創造してまいります。実店舗にしかできないお買物体験に磨きをかけると共に、店舗へのデジタルテクノロジーの導入を加速いたします。そして、地域に合わせた品揃えや商品開発をすすめると共に、毎日の暮らしに寄り添う、便利で楽しい新たな店舗の開発と出店もすすめてまいります。

当社の店舗は、お買物をしていただく場所だけではなく、地域の皆さまが集い、色々な体験を通じて楽しむ場所にしたいと思っております。そして「イオンのあるまちに住みたい！」そう言っていただけるよう、地域のお客さまに愛される店づくりに取り組んでまいります。株主の皆さまには引き続きのご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年11月

### 財務ハイライト



## トピックス

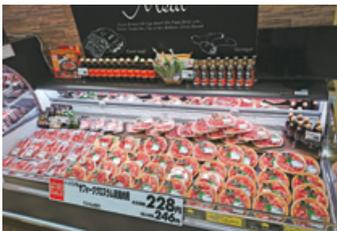
### 圧倒的に強い商品力

### 新鮮食品を充実させた「イオン道産デー」 「ヘルス&ウエルネス」

#### ■「ヘルス&ウエルネス」

昨今の健康志向の高まりの中、低カロリーで脚光を浴びているラム肉の希少部位や、有機野菜・有機果物を取り揃え、「ヘルス&ウエルネス」をテーマとした生鮮食品の強化に取り組みました。

#### 「ヘルス&ウエルネス」 低カロリーのラム肉売場



#### ■「イオン道産デー」

道産食材を提供する恒例セール「イオン道産デー」において、北海道産の季節毎の旬商品をダイナミックに展開し、お客さまに大変ご好評いただきました。

#### 「イオン道産デー」 4月 モガニ売場



### 圧倒的に強い販売力

### 専門店化推進「フラワー&ガーデン」・ 「パンドラハウス(手芸)」・「サイクル」

#### 徹底した品揃えと「コト」体験で選ぶ&遊ぶ楽しさを提供

#### 札幌駅前通地下歩行空間「チ・カ・ホ」 での花と手芸の体験型イベント



#### 「キックバイク」の体験型イベント



#### ■フラワー&ガーデン 「ROSE,ROSE,ROSE&GREEN」

北海道や世界のバラを約150種類取り揃えるほか、社内資格「グリーンマスター」を持つ従業員と一緒に、人気のハーバリウムやブーケを自分で作れるレッスンを開催しました。お花のほかにもレザークラフトの講習会を行うなど、多くのお客さまに大変ご好評をいただきました。

#### ■「へんしんバイク バランストレーニング教室」

札幌駅前通などで行われた「TOWN PICNIC sapporo 2018」にて、ペダルの取り外しが可能な「へんしんバイク」を使い、自転車に必要なバランス感覚と体幹を、遊びながら磨くことができる親子参加型のイベントを実施しました。

### 地域へ貢献し続ける企業

### 新たに釧路市と地域連携協定を締結

#### 北海道内で8番目の「ご当地WAON」の誕生



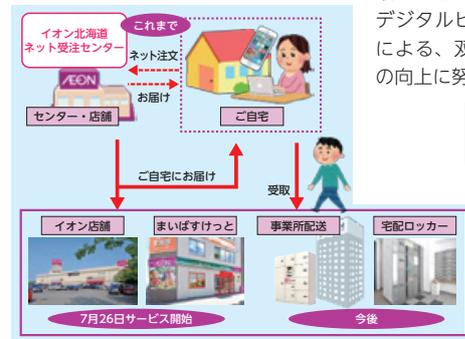
当社は北海道の活性化と一層の発展を、地域の皆さまと共に取り組むため、2011年度より北海道・札幌市・旭川市・函館市・帯広市と包括連携協定を締結しており、本年8月に新たに「釧路市」と地域連携協定を締結しました。その一環として発行している寄付スキームの電子マネー「ご当地WAON」を釧路市においても発行し、地域活性化にお役立ていただきます。中でも「くしろWAON」は道内の交通系ICカード以外の電子マネーで初めてとなる十勝バス・くしろバスなどの定額運賃路線での決済サービスを開始し、地域の皆さまの利便性の向上や市民サービスの向上に向けた新たな取り組みを実施しました。

### デジタルシフトへの取り組み

### 「イオンお買物アプリ」 「店舗受取サービス」をスタート

デジタルシフトへの取り組みとして、3月にスマートフォンでお得なお買物情報やクーポンを得られる「イオンお買物アプリ」の配信をスタートし、7月にはネットスーパーでのお買上げ商品を札幌市内の指定した店舗で受取できる「店舗受取サービス」を開始しました。今後もデジタルビジネスとリアル店舗の融合による、双方の強みを活かした利便性の向上に努めてまいります。

#### ネットスーパーお買上げ商品の 「店舗受取サービス」順次拡大

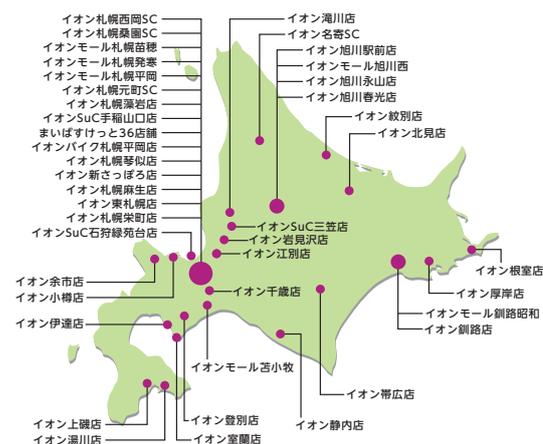


#### 「イオンお買物アプリ」の イメージ



## 店舗情報／会社概要

### 店舗情報 (2018年8月31日現在)



### 会社概要 (2018年8月31日現在)

社名	イオン北海道株式会社
本社	〒003-8630 札幌市白石区本通21丁目南1-10
事業内容	総合小売業
設立	1978年4月5日
資本金	61億43万円
上場金融商品取引所 (証券コード7512)	東京証券取引所市場第一部 札幌証券取引所
決算期	2月末日
売上高	1,866億円 (2017年3月~2018年2月)
店舗数	77店舗
従業員数	7,920名
主要取引銀行	北洋銀行、三井住友信託銀行、みずほ銀行、 北海道信用農業協同組合連合会

## ◆損益計算書の概要

(単位：百万円)

	第40期 2017.3.1~ 2017.8.31	第41期 2018.3.1~ 2018.8.31	増減率(%)
直営売上高	91,682	91,647	△0.0%
売上総利益	24,940	25,070	0.5%
営業総利益	34,192	34,265	0.2%
販売費及び一般管理費	30,728	31,153	1.4%
営業利益	3,463	3,111	△10.2%
経常利益	3,473	3,059	△11.9%
四半期純利益	1,943	1,902	△2.1%

## ◆貸借対照表の概要

(単位：百万円)

	第40期 2018.2.28	第41期 2018.8.31	増減額
流動資産	24,579	22,959	△1,619
固定資産	70,228	73,789	3,561
有形固定資産	57,488	60,901	3,412
無形固定資産	1,498	1,628	130
投資その他の資産	11,241	11,259	17
流動負債	36,204	39,635	3,430
固定負債	15,810	14,174	△1,635
純資産	42,792	42,938	146
総資産	94,807	96,749	1,941

## ◆キャッシュ・フローの概要

(単位：百万円)

	第40期 2017.3.1~2017.8.31	第41期 2018.3.1~2018.8.31
営業活動によるCF	5,582	5,843
投資活動によるCF	△1,338	△4,481
財務活動によるCF	△5,371	△1,773
現金及び現金同等物の増減額	△1,127	△412
現金及び現金同等物の期首残高	3,395	2,707
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,268	2,295

## 四半期決算のポイント

### 【売上動向】

- ・売上高は916億47百万円、前年同期比100.0%で、衣料部門が苦戦したものの、食品部門が8期連続増収したことにより、前年並みの売上を確保することができました。
- ・部門別では、7月の豪雨や猛暑、8月の冷夏・多雨など天候不順により衣料部門および住居余暇部門は前年同期を下回りましたが、食品部門では生鮮食品が引き続き好調で、お客さまの健康志向に着目した「ヘルス&ウエルネス」や、恒例セールスの「イオン道産デー」の取り組み等により、既存店前年同期比101.3%と伸長しました。

### 【利益動向】

- ・衣料・食品・住居余暇のすべての部門で荒利益率を改善し、営業総利益は342億65百万円（同100.2%）と前年同期を上回りました。
- ・販管費においては、店内オペレーションの省力化・省人化の取り組みで最低賃金上昇による人件費の高騰を抑制する一方、当初から計画しておりました店舗活性化や次期レジシステムの導入、安全対策修繕、省エネ、将来に向けたデジタル化の推進など、安定した経営基盤づくりへの積極的な投資により増加し、その結果営業利益は31億11百万円（同89.8%）となりました。
- ・経常利益および四半期純利益はそれぞれ30億59百万円（同88.1%）、19億2百万円（同97.9%）と減益となりましたが、どちらも計画通りに推移し、業績予想を上回る結果となりました。
- ・自己資本比率は44.2%と前年同期より4.3ポイント改善、有利子負債依存度は12.6%と前年同期より4.1ポイント改善し、負債を圧縮したことで大型投資にも対応できる財務体質へと改善いたしました。

## 部門別売上高実績

(単位：百万円)

	売上高	前年同期比	既存店前年同期比
衣 料	16,283	4.4%減	4.4%減
食 品	56,482	1.5%増	1.3%増
住 居 余 暇	18,004	0.2%減	0.2%減

## 部門別売上総利益率

	売上総利益率	前期差
衣 料	37.6%	+0.0
食 品	24.5%	+0.2
住 居 余 暇	27.9%	+0.4

## 通期の見通し

- ・売上高は、上期に実施した活性化投資の効果の最大化を図り、前期比1.9%増の1,902億円の達成を目指します。
- ・営業利益については、引き続き将来に向けた安全対策修繕や、デジタル推進投資などコスト増加要因はあるものの、収益性の低い事業の収益改善に取り組み、営業利益87億円の実現を目指します。

売 上 高	1,902億円 (前期比 1.9%増 ↗)
営 業 利 益	87億円 (前期比 1.2%増 ↗)
経 常 利 益	85億円 (前期比 1.1%減 ↘)
当 期 純 利 益	48億円 (前期比26.0%減 ↘)

## 取締役・監査役 (2018年10月1日現在)

代表取締役社長	青柳	英樹	樹彦
取締役	竹垣	吉和	彦滋
取締役	笠島	和	充
取締役	関矢	三野	一郎
取締役	星野	三	一
取締役	岡崎	双	一
取締役	中田	美知	子
取締役	廣部	眞行	介
常勤監査役	福元	英征	雄
監査役	吉岡	眞	人
監査役	福岡	眞	人
監査役	西松	正	人

注：中田美知子氏、廣部眞行氏は社外取締役であります。  
吉岡征雄氏、福岡眞人氏は社外監査役であります。

## 執行役員 (2018年10月1日現在)

常務執行役員	竹垣	吉彦	管理本部兼ダイバーシティ推進責任者
常務執行役員	笠島	和滋	商品本部兼コーディネーター部長
執行役員	関矢	充治	営業本部長
執行役員	山本	治之	商品本部衣料商品部長
執行役員	田中	史久	営業本部道北事業部長
執行役員	櫻井	禎久	営業本部営業企画部長
執行役員	渡辺	昌弘	商品本部食品商品部長
執行役員	辻野	裕一	経営管理統括部長兼経営企画部長
執行役員	豊田	和宏	管理本部財務経理部長
執行役員	木下	憲博	営業本部道南事業部長
執行役員	小林	博一	営業本部SC事業部長
執行役員	佐々木	晃一	営業本部エリア推進部長
執行役員	五十公野	晃一	営業本部道央第1事業部長
執行役員	前田	晃示	管理本部総務部長
執行役員	羽牟	秀幸	営業本部道央第2事業部長

## 株式の状況 (2018年8月31日現在)

発行可能株式総数	普通株式	132,000,000株
発行済株式総数	普通株式	106,211,086株 (自己株式624,028株含む)
単元株式数		100株
株主総数	普通株式	38,895名

## 大株主 (上位10社) (2018年8月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
	普通株式	
イオン株式会社	85,463,070株	80.9%
加藤産業株式会社	1,200,000株	1.1%
イオン北海道従業員持株会	952,835株	0.9%
株式会社北洋銀行	559,400株	0.5%
総合商研株式会社	421,800株	0.4%
イオンリテール株式会社	404,720株	0.4%
北海道コカ・コーラボトリング株式会社	380,000株	0.4%
東洋水産株式会社	319,500株	0.3%
モリリン株式会社	300,000株	0.3%
株式会社北海道銀行	280,000株	0.3%

注：持株比率の算定は、自己株式（624,028株）を除外して計算しております。

## 株主優待 (2018年8月31日現在)

2月末日の株主名簿に記載された株主さまに、保有株式数に応じて株主様ご優待券を贈呈いたします。また500株以上保有の個人株主さまには、全国のイオングループの店舗に開設している「イオンラウンジ」をご利用いただける「株主さまカード」を発行いたします。

### 【イオンラウンジのご利用】

お買物の合間にゆっくりとおくつろぎいただくために、ラウンジ会員さまに限定したサービスをご用意しております。全国のイオンラウンジ設置店舗にて株主さまカードをご提示のうえお気軽にご利用下さい。有効期限は発行後1年間とし、それぞれに記載されている期限とします。

### 【株主様ご優待券のご利用可能店舗】

株主様ご優待券は下記全国21社が運営するイオン、マックスバリュ、イオンスーパーセンター、まいばすけっと、ザ・ビッグなどの直営店舗でご利用いただけます。

#### <ご利用いただける会社>

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| ・イオン北海道(株)     | ・マックスバリュ関東(株)   |
| ・イオンリテール(株)    | ・マックスバリュ東海(株)   |
| ・イオンリテールストア(株) | ・マックスバリュ中部(株)   |
| ・イオン九州(株)      | ・マックスバリュ長野(株)   |
| ・イオンストア九州(株)   | ・マックスバリュ北陸(株)   |
| ・イオン琉球(株)      | ・マックスバリュ西日本(株)  |
| ・イオンビッグ(株)     | ・マックスバリュ九州(株)   |
| ・マックスバリュ北海道(株) | ・イオンスーパーセンター(株) |
| ・マックスバリュ東北(株)  | ・株式会社           |
| ・マックスバリュ南東北(株) | ・株式会社           |
| ・イオンマーケット(株)   | ・株式会社           |

但し、酒類、タバコ、切手、印紙、はがき、商品券、プリペイドカード、処方箋により販売する医薬品、その他各社の指定する商品の購入、ネットショップ、専門店等ではご利用いただけません。また、一部の店舗・売場でご利用いただけない場合がございます。

### 【株主様ご優待券の贈呈】

年1回100株以上保有の株主さまに優待券を贈呈します。

保有株式数	株主優待券	優待内容(優待金額)
100株~999株	株主優待券100円券	×25枚 (2,500円分)
1,000株~1,999株	株主優待券100円券	×50枚 (5,000円分)
2,000株以上	株主優待券100円券	×100枚 (10,000円分)

## 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日
	期末配当金 毎年2月末日
	そのほか必要がある場合には、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031
(インターネットホームページURL)	<a href="https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>
公告方法	当社ホームページに掲載いたします。 <a href="http://www.aeon-hokkaido.jp/finance_03.html">http://www.aeon-hokkaido.jp/finance_03.html</a>